



2024年2月7日

各位

会社名 株式会社インテージホールディングス
代表者名 代表取締役社長 石塚 純晃
(コード番号 4326 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 竹内 透
電話番号 03-5294-7411(代表)

2024年6月期第2四半期(累計)期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2023年8月7日に公表した2024年6月期第2四半期(累計)期間の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 2024年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差 (2023年7月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 31,000	百万円 2,000	百万円 2,250	百万円 1,500	円 銭 39.40
実績値(B)	30,739	1,530	1,640	1,015	26.65
増減額(B-A)	△260	△469	△609	△484	
増減率(%)	△0.8	△23.5	△27.1	△32.3	
(ご参考) 前期第2四半期	29,960	1,976	2,213	1,651	

2. 差異の理由

2024年6月期第1四半期会計期間は、前年度同様、主力のパネル調査が堅調に推移するも、一部顧客予算縮小等によりカスタムリサーチの案件の戻りが遅れ、わずかな増収にとどまりました。一方で、第2四半期会計期間は、消費財メーカーおよびヘルスケアのリサーチ需要が回復の兆しを見せ、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い旅行業界のシステム開発案件が増加する等、事業環境の改善により順調に進捗いたしました。

しかしながら、第1四半期会計期間の遅れをカバーするまでには至らず、第2四半期累計期間の売上は計画を下回りました。また、人件費および投資費用の増加に加え、株式会社NTTドコモとの資本業務提携に関連する費用が発生したこと等により、営業利益および経常利益についても計画未達となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の要因に加え、特別損失として計上した投資有価証券評価損の影響を受け計画を下回っております。

なお、2024年6月期通期の連結業績予想につきましては、進捗に遅れがあるものの、引き続きパネル調査が堅調に推移していること、消費財メーカーおよびヘルスケアのリサーチ事業で業績の改善が見られること等から、予想を据え置いています。今後ビジネス状況が変化し、業績予想の修正等が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以上